て لح 雇 場

います。

くまがい桂子市

日本共産党の

は議

への不安が広がっ

減少が加速するこ

用

の

場を失い、人

の3月閉鎖

など、



はたやま前衆議・くまがい市議市民と懇談

れ項

について、

それ

し

撤退、

ハニチロの 夕張リゾー

エ

に労

対

の要請事

働 海

政

争務所 業局 であ

と も 数 ま やに などで暮らしと営業 た、 が か月分未払いの知 長·夕張出張所長、 干 回るクーポン券 いる」「地域でお 懇談し、「賃金 歳ハロー 市民の方たち ワー が ク

> 空知地区委員 たやま前衆議、

> > لح

市民の 生業、

雇 会

地 用

ティ う、

が維持され 空知振興局

کر るよ

玉

の

出先機関

る

北

経済産

議 は 員とともに、 やま和也前衆議 厚谷司夕張市長 1 議 月院 と暮らし、 ともに、 域の経済とコミュニ は

さらに、2月3

日

い ٽل を ました。 の声が寄せられ 支えてほ し い て な

ない

場

以 下の でけら

対れ

玉

場閉

鎖 ル

が が 選 二

マ

チ

の

時 1

策

業を探・ や道内の 関と連携 一物を活用した、 夕 張 し などの 市 空 知 て ゃ 後 関 農 管 継 係

党

畜 占 企

水を講 ること。

ること。 道として全力をあ の連絡や情報収集に在住の経営責任者と

②代理人 務不履! すること。 連絡を密に 没行を極 介護 . 行 力抑 い ± 債の 制

施

だされ

1

月

対

キャンセルとなった ④スキー修学旅行が 実施 ム を が、 夏場のスポ ③スキー の 等の早期の の保守・ (例えば、 支援を行うこと。 をめ 定 を組 がざし、 · 場 や 行プロ 維持管理 夕張市(石 す 営 ルみ込 業再 ・ツ合宿 木 l グラ 施 テ λ 開 や栗 強化 られるようにするこ 1

専門学校等

で

受

け介

Щ

町の北海道

空知振興局高野局長に要請書を手渡す

0. ② 勤 し 付けの き期間 (5年以内)、 ^勤労者資 6 利 6 金 や融 率 年 カ 福 月 資 祉 据 え期利貸

5

望者全員が夕張 策プロ 力を発信すること。 すること。 たっ 職 22 日 以下の 業訓 グラム」 緊急雇 から 練 市 を 点 内 に用実 希 を 収

つい

て、

機

動

北海道経済産業局に要請・懇談

助成金の 縮 小 · ること。 経営 ③国と共に 打ち切り 第2弾の 金の打ち切 付金と家賃支 されるよう以 ①国に対し持 策を行うこと。 食 などの特別 ること。 束までの など関 業者 IJ マ لح 休業 ゾー 雇 連事 撤 \Box し 実 ゃ 用 が 支援 施 融 回 IJ 卜 援 な 資 ナ 用 を 下 業 光 の チ を感金特調求染の例整 求め 維 対 ゃ 給 化 の 策助 対 持 の飲引や 付 給

等。 平 取

道内・外の学校に

か

わ

町

穂別(恐

竜)~

町

'(アイヌ民族)

ること。 設が職 け、 低い人 へ の い 人 ゃ 応 例 再 を す

マ ーユファクチャリン 夕 夕 ハニチロ 夕張リゾ シチズン 破産、 場の 1夕張工 6希望退) 時計 ートの また、

要望」

ら

地域経済と雇用、

凍食品

等の

生産

6

か

空知振興局長に要請・懇談

ニチロ(株)に を発表 を求めること。 タ張工場閉鎖 という急 わ し ず た、 なエ か 3 場閉 の 対 マ か į ル 再 月 考 鎖 後

暮らしを守るための ت ع に社②低にフ う 時産業化) 低額 マル 対 į /\ ニチ に活

3 交渉すること。 タ 張 で譲渡するよ リゾ 後 継 企 卜 業本

つて、 経 営 破 以下の た んに か か

緯にかん 講じること。 代に外国資本(中知事が夕張市長 系) に転売 んがみ、 し た経 香港 策を ゎ の

北海道農政事務所長に要請・懇談

夕張市委員会へのご連絡·ご相談はお気軽にどうぞ~ Tel/Fax : 0123-52-3097 e-mail: jcp.yubari@gmail.com

労 働 陥っ 調 が 関 1 を 民 り夕張 連 要な 実施 査 局 て 賃金 で 支援 ととも い 働 に 相

係

い 奨学金の いなどへ が、 けること。 の 返 大 ~済義 世帯 特 別務 の

きるよう、門学校など 経営がる 高校生 の 事 業主など な 悪化した 失っ 進学で 八学や専 た世個帯 人

③ 道 必学 金 $\frac{1}{\sqrt{1}}$ 高 へ 変 校生等奨 「奨学の 、換する 7 張

職業安定部職業安定 課への要請・懇談↩

> 民 日

主

主義を守るたたかいが特に大切になって

枠を 2/3 厚生労働省 北海道労働局↩

> リゾートそ すること。 らしと福 ないか、市、 一未払などに いていた人 ☆る支援: 策を行う を に緊急 行 で、 Ü 祉 市 の 策 (5) す 給の 付 ④ لح 知 学 た 総合支援資金 と社会福 勤 し 援 め の保険料、 ること できることを周 活用を広げるこ 助 療や介 制度などを周 給付金」)や 祉 協

が議

知併会貸

くずさんの

金

す の地等 ること。 方税、 減免を周知、 公共料金等 護、年 国 税 実 施 金

東

京

内務

局長と į

「大庭

の人

脈

た

ので

ゃ

談

検 員 支 国と共に手厚い財 を 6 を講じられるよう、9 市が独自に対策 討 の 援を行うこと。 すること。 派遣につ て 職政 策

が、

朝

エ 計マニュファ 場、 マ ル ーュファクチ シチズン時 ルハニチロタ

> 時 を

装横

行 10

L

進法、 場への企 条例などに ュ 条例などに基づく進法、道産業振興場への企業立地促ュアリングタ張工 内容と か 市 さ の 助 れ た額成

反

套 広

<u>ا</u> を厳格 かかるル . 定め

*

日

明 治 維 新 66 朝 鮮 植 民地 支配

支配 の 中 での 民衆殺 りく

人の 「三・一」の 多く 東 大震災にあ 関 東 弾 戒 圧 たって、

鮮

独

運

動

ジ

エ

カュ

カュ 部 <u>\(\frac{1}{2} \)</u>

0

 \mathcal{O} わ

要

二郎」は、 して武断 関東大震災での朝鮮人殺 鮮 都 は、 \mathcal{O} 知 夕張歴史散歩(152) 事 民 政 族 間 治 運 島虐殺の 宇佐美勝夫」は、 を主導しました。 動 7 前後には朝鮮 弾圧の最前線にあった軍や警察 いました。 際には 東 京 朝鮮 りくにつながってい 0 総 朝鮮総督府の 軍事参事官だった 警 督 軍司令官でし 視 府 厳司令部 に関与し 総 0) 警務 監 局) た 軍

池

濃 で

(アツ

は朗

長

た。

とごとく殺りくすべし」と命令したように、 銃殺し村々を焼き尽くす蛮行が、 抗 に 朝 日 義兵 鮮人殺害があったのです。 0) 闘 いで、これにあ たった川 その延 上 操 長線 六総監が 民衆や 上 に震災 捕虜

謝

東大震災での社会不安から

関

手段 げ、 を例にとっても、 現代でさえもこういう事態が起きるのです。 メディアが して 動勢力は て現地に乗り込むと 年 は、 民主運 前 るというデマが広が 東 東大震災で明らかになっています。 日 果たす役割も大きいのです。 動 混 本大震災の 労働運 乱に乗じ社会不安を煽り、 何 が真実なのかを見定める目を養 動 いう事態が起きたそうです。 時、 を弾圧・抑圧に出ると ,, b , 石巻で外国人 東京の コロナ禍 右 デマ宣 翼 0 寸 窃 いう常 体 盗 伝 が 寸 を 今 武

刊の歴史問題をどう読み解くか」共著 ③慎蒼宇

1

なさんと力



48)

ダ

参議院議員 渕 友 国 会か けある記 友

1 平 等、 多様性 を尊 重 する社会

ことに 時 間がかかる」などと女性蔑視発言を行っ 五 が、 怒りが広が 「女性がたくさん入っている理 パラリ つてい ・ます ツイッター 事会 上 でた

は開き直りそのものです。 罪し、発言は 撤 回し たと 新 1 11 ま す 口 ナウイ が 述べ 内 容 ル

すジェンダー・ゆる場面に女性 か、政府の責任が問われます。まっています。森氏をこのまま続投させおり、コロナ禍で開催ありきの姿勢に批えがどういう形だろうと必ずやる」とも す。ジェンダ オリンピックについても「 、ます。 $\frac{1}{2}$ 会では女性が自分だけと することが重 きたといいます。 森 氏 政 面に女性 0) 発言 わきまえずに が行わ ギャップ指 キャップ指数は、日本要です。男女格差の度かいることが当たり前 失笑で、 れ ップ指数は、日本は世す。男女格差の度合いることが当たり前のないにモノを言える社会、 た評議 いう場面には済まされ を尊重し 員 いまされ 会で に 品がよくな は れ かよくあ あう て 会、 判がが い社 世 1 11 を示 界 あ ま が 会 で 府

玉

起

り